

あわら市議会だより

第72号

令和4年5月13日 発行

あわ、あわら贅沢。
都会にはないぞいたくがあるまち

議会日誌 おもな会議のみ掲載

- 2月1日 議会活性化特別委員会
- 9日 全員協議会
- 18日 議会運営委員会
- 3月1日 議会運営委員会
全員協議会
- 4日 第111回定例会本会議開会
予算決算常任委員会
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問
- 10日 総務厚生常任委員会・分科会
- 11日 総務厚生常任委員会・分科会
- 14日 産業建設教育常任委員会・分科会
- 15日 産業建設教育常任委員会・分科会
- 23日 予算決算常任委員会
議会運営委員会
- 24日 全員協議会
第111回定例会本会議閉会
広報編集特別委員会
- 4月5日 全員協議会
議会活性化特別委員会
- 15日 広報編集特別委員会
- 25日 広報編集特別委員会

ふるさと探訪 「雨夜塚の句碑(世界一短い文学)」

旧金津町下八日区にある雨夜塚は、寛延2(1749)年9月に旧金津の姫川吟社二世有隣庵我六が芭蕉翁の遺徳を慕って、美濃派四世(岐阜県)の田中五竹坊が越前行脚の折、金津に立ち寄った時に建てられたものです。



芭蕉が「奥の細道」俳句行脚の途すがら、吉崎から汐越の松をたずねて金津に着いたのは、元禄2(1689)年旧暦8月初旬でした。にわか雨に逢い、総持寺の門前で雨宿りをしました。同志が集り旅情を慰めましたが、句会を開く間もなく晴れ間を待つ松岡へと向ったそうです。

雨夜塚の名前は、碑の側面に「野分して盥に雨を聞く夜かな」とは故翁の遺吟なるが、坂(野)我六のぬし風雅の冥慮を仰がんと此碑下に埋めとどめて雨夜塚と尊むなるべし」との碑文と、五竹坊の「その道も潤ふ秋や雨夜塚」および我六の「恵みは広き野に草の花」という句が刻まれていることが由来と聞いています。庭園は、他にも閑雅で美濃派五世以哉老師の笠塔をはじめ、金津姫川吟社三世二遂坊の「月の秋や心にかかる雲もなし」など16基の句碑があります。

俳句は世界一短い文学。五・七・五わずか17音節のことばを通して、この世界の豊かさに出会い、実感します。一度訪れてみてはいかがでしょうか。(青柳)

3月定例会報告	2p
委員会報告	4p
一般質問	7p
請願・陳情・意見書・討論	14p
議案と結果	15p
ふるさと探訪	16p

YouTubeチャンネル開設しました!

議会の様子がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>



あらた坂 (広報編集委員撮)

編集後記

寒い冬を越え、木々の芽吹きとともに私たちにも活力が湧く季節となりました。市長選、そして当初予算の審議を終え、市役所や議会の現場も活発に動き始めています。

新人職員の初登庁や人事異動に伴い、新しい風が吹き始めているのを感じます。これからの新しい市政にぜひ注目ください。

そんな現場の様子をお伝えするために、少しずつですが議会だよりの紙面も読みやすく改善がなされています。まだまだ議論の余地はあるかと思いますが、様々な年代の市民の方に読んでいただけるよう、また議会に興味を持っていただけるように努力してまいります。

市民の皆様とともに、楽しいあわら市となるよう取り組んでまいりますので、ご意見等いつでもお寄せください。(三上)

編集・発行責任者
議長 山田重喜

市議会広報編集特別委員会
委員長 北卯
副委員長 青三 木青 室平
委員 柳上 浦目 陽一 篤寛 博憲
野谷下 時郎

発行/あわら市議会 編集/あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp



3月定例会 令和4年度一般会計予算成立 歳入歳出 159億円

会計名	予算額	前年度比較(%)
一般会計	159億円	3.8
国民健康保険特別会計	29億8,820万円	△ 0.5
後期高齢者医療特別会計	4億5,280万円	17.5
農業者労働災害共済特別会計	500万円	0.0
公共用地先行取得事業特別会計	3億9,600万円	新設
水道事業会計	9億3,534万5千円	0.2
公共下水道事業会計	20億8,094万5千円	0.4
芦原温泉上水道財産区水道事業会計	2億 872万1千円	△ 0.5
合計	229億6,701万円	4.7

※公共用地先行取得事業特別会計とは・・・
国が施工する国道8号事業の用地取得等のため、用地国債制度を活用するのに伴い設置する会計です。

あわら市令和4年度当初予算のポイント

令和4年1月に市長選挙が行われたため、「骨格予算」を基本としつつ、JR芦原温泉駅周辺整備、道の駅整備のほか、人口減少対策など継続的に取り組むべき事業を計上した予算となっています。

- 1 JR芦原温泉駅周辺のまちづくり
- 2 魅力と活力あるまちづくり
- 3 若い世代にやさしいまちづくり
- 4 住みたいまちづくり
- 5 安全安心のまちづくり

※骨格予算とは・・・
政策に係る収支を除き人件費等義務的経費を主体として必要最小限の収支のみを計上する予算です。
6月定例会において、新市長の政策を考慮した経費や新規事業を追加する補正予算が編成される予定です。

< 地方債及び基金・積立金の状況(令和4年3月末見込) >

地方債残高(市の借金)	
一般会計	183億 3,720万円
公共下水道会計	92億 7,331万円
水道事業会計	12億 4,618万円
合計	288億5,670万円(0.6%)

市民1人当たりの借金 約106万円(1.8%)

※ 1人当たりの借金・貯金の算定基準
令和4年2月1日現在の人口 27,196人
※ ()内は、前年度比較
※ 切捨ての関係で合計が合わないことがあります。

基金・積立金残高(市の預金)	
財政調整基金	32億 6,600万円
地域振興基金	13億 円
その他	13億 6,244万円
※一般会計所管 計	59億 2,844万円
国民健康保険基金	4億 7,448万円
農業者労働災害共済基金	3,103万円
※特別会計所管 計	5億 551万円
合計	64億 3,395万円(15.3%)

市民1人当たりの預金 約23万6千円(16.8%)

3月定例会 令和3年度一般会計補正予算(第10号) 10億1,998万円を増額



(新郷小学校の桜)

- 副市長 ^{まえがわ よしひろ} 前川 嘉宏 氏の選任に同意
- 令和3年度一般会計予算総額は182億1,735万5千円に
- 教育委員会委員 ^{さかの やすこ} 坂野 靖子 氏の任命に同意
- 固定資産評価審査委員会委員
^{にしむら えいいち} 西村 英一 氏、^{たさき まさみ} 田崎 正實 氏、^{やながわ なな} 柳川 奈奈 氏の選任に同意
- 芦原温泉上水道財産区管理委員
^{いとう かずゆき} 伊藤 和幸 氏、^{たつお あきひで} 立尾 章英 氏、^{やまくちとおる} 山口 透 氏、^{おくむら たかし} 奥村 隆司 氏、^{こはま ひるのり} 小濱 弘範 氏、^{まきた まさずみ} 牧田 昌純 氏の選任に同意
- 人権擁護委員 ^{ながさお あつこ} 永棹 厚子 氏の推薦に同意

令和4年3月定例会が3月4日から3月24日までの会期で開催されました。

今定例会では、令和3年度補正予算に関するもの5議案、令和4年度当初予算に関するもの8議案、条例の制定等に関するもの5議案、人事に関するもの12議案の計30議案が上程され、すべて原案のとおり可決・同意されました。

なお、今回は12人の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

その他、議員発議による意見書の提出に関するもの1議案、決議に関するもの1議案が可決されました。

予算決算常任委員会

インターネット中継で審査状況をご覧になれます。

令和3年度 一般会計補正予算

■総務課

**まち・むらとよきめき
推進事業補助金
1千万円減額**

委員県の補助制度が令和4年度で終了するため、来年度が最終年度である。執行率が悪いのであれば何か工夫する等の考えはあるか。

理事者 4月から11月まで継続的に補助金申請を受け付ける方式に改正し、引き続き集落の活性化が図られる事業については、今後検討します。

■市民協働課

**ふるさとあわら
サポート基金事業
2千240万円増額**

委員 ふるさと納税のポータルサイトを増やす考え

はないのか。
理事者 整合性がとれるのであれば前向きに検討を進めていきます。

■農林水産課

**多面的機能支払
交付金
2千923万2千円
減額**

委員 減額は、事業が行えなかったからなのか。
理事者 国の交付金が必要額の74.8%しか割り当てられなかったため、減額となりました。

■商工労働課

**スマートフォン・ビジネス
支援事業
350万円減額**

委員 4件の申請のうち、3件が不採択になったのはどうしてか。
理事者 第一審査で書類審査し、その後の外部審査員を入れてのプレゼン

審査会を行っています。そのときに事業計画等について困難な面があると判断され、不採択となりました。

商業エリア

**空き店舗・空き家
改修事業補助金
500万円減額**

委員 空き店舗と事業者とのマッチングはどのように行っているのか。
理事者 まず、空き店舗・

空き家の情報を公開しています。あっせんを希望する方には、JR芦原温泉駅前の空き店舗を紹介しています。

■教育総務課

**金津中学校改修工事
工事請負費
2千20万3千円減額**

委員 多額の入札差金が出たのは設計に問題があったのではないか。

理事者 最低制限価格ギリギリのところでは、設計にあつたため、設計についてはコンサルタント会社へ委託しており、過大設計ではありません。

**令和3年度
国民健康保険特別
会計補正予算**

一般被保険者

**療養給付費
3千万円増額**

委員 コロナ禍において受診を控える人がいたが、令和元年度と同じレベルに戻ったということか。
理事者 同じレベルに戻ると判断しています。また団塊の世代が全て2割負担の70歳以上になったことも影響しています。

**令和4年度
一般会計予算**

■総務課

**防災経費(交付金)
38万円**

委員 防災士の会に対する補助金が少ないのではないか。
理事者 防災士は、職員の数に限られた中において一緒に活動してもらえないので、補助金に関しては今後協議を行っていきます。

■財政課

合併特例債

委員 合併特例債の残金はいくらか。
理事者 合併特例債の発行限度額は94億6千万円程度で、令和4年度は2億2千280万円を発行する予定であり、発行可能額の残額は、1億1千530万円になる予定です。

移住定住促進事業

委員 改修だけでなく新築の場合の補助金も交付すべきであり、また市外からの転入者も移住とみなし、あわら市独自の補助制度を創出すべきではないか。
理事者 魅力ある支援金、補助金となるようできるだけ早く制度設計を示すよう協議していきます。

■政策広報課

**情報化推進経費
地域活性化企業人
負担金**

委員 あわら市のDX推進に係るICTアドバイザーを雇用するための予算であるが、限度額560万円足りるのか。
理事者 特別交付税の範囲内で雇うことにしており、今後人数を増員する場合は改めて相談します。

■市民協働課

■市民課

**マイナンバーカード
取得促進事業
消耗品費
2千万円**

委員 図書カードからギフトカードになった理由は何か。
理事者 広い年齢層に活用していただけるため切り替えました。

■生活環境課

**海外漂着物等地域
対策推進事業委託料
100万円**

委員 この事業は、特定の業者に委託するのか。
理事者 注射器などの特別なごみ処理が必要なため、収集業者に直接処理を委託するものです。

■福祉課

**重層的支援体制整備
備事業**

委員 重層的支援が始まることにより、補助金は

どうなるのか。また職員の仕事は変わるのか。
理事者 補助金が全て交付金化し、補助金交付申請を受けて決定するという事務的な作業は軽減しますが、いろいろな会議を開催することになり、違った事務的負担は増加します。

■農林水産課

**多面的機能支払
交付金
2億3千548万円**

委員 国から予算が配分されない資源向上長寿命化事業は繰越、繰越になつてしまったため、実態に応じた整備計画を作る必要があるのではないか。
理事者 事業制度の中で、共同活動の持ち越し金については理由づけを明確にすれば、余剰分を長寿命化補助金に回すこともできます。国に対し予算が多く配分されるよう強く県にも働きかけます。

■観光振興課

**映画「おしよりん」
制作支援
500万円**

委員 500万円を支援するメリットはあるのか。
理事者 映画の冒頭に流れる映像で新幹線駅所在地は、PR動画を長めに流してもらえます。
また未確定ですが、口ケ地の一つとして、あわら市も予定しています。

魅力発信事業

824万円

委員 コロナ禍で事業が減少し、減額する分があるのではないか。

クマの誘引樹木 伐採補助金 6万円

委員 事業実施場所は特定されているのか。
理事者 菅野区を予定しています。今後は各地区の要望を調査し、予算を計上していきます。

■建設課

**道の駅整備事業費
4億9千380万
5千円**

委員 財源については、辺地対策事業債を充てるのか。
理事者 辺地対策事業の対象となるため、辺地事業債を充てる予定です。充当率は100%で交付税率算入80%となっております。合併特例債より有利なもので、市負担の3億7千400万円に充てます。

汀公園整備事業

2千200万円

委員 整備内容は何か。
理事者 護岸上に転落防止柵を設置する費用が半分以上見込まれます。また公園内は地元で管理委託しているため、樹



汀公園

木管理も含め地元と協議していきます。

■教育総務課

**小中学校のドリル
教材アプリ利用料
870万円**

委員 アプリはどの学年が対象で、どれくらいのボリュームなのか。
理事者 小学校1年生から中学生までの9学年1千861人分です。ボリュームはかなりの収録数となっています。

■文化学習課

**文化会館管理経費
869万円**

委員 施設を解体して借地を引き払った方が良くないか。
理事者 令和元年度の契約更新の中で、「文化会館の供用を廃止する場合は、契約を解除する」との項目を加えました。地元説明会ではアフレアができる時期には取り壊しをしたい旨を伝えていきます。



文化会館

市政について問う!

3月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



■木下 勇二 議員

- 市長選挙戦で示した公約を4年間でどのように取り組んでいくのか
- トリムパークかなづの維持管理について



■室谷 陽一郎 議員

- 今後の市政運営について



■堀田 あけみ 議員

- 公共施設の調理室の状況について
- 制服の見直しについて



■吉田 太一 議員

- DX推進についての考え
- 人口減少問題について



■平野 時夫 議員

- プラスチックごみの回収と削減について
- 気象防災アドバイザー活用について
- シニア向けスマホ教室について



■山川 知一郎 議員

- 市長の施政方針について
- 福祉灯油の実施を
- 難聴者の補聴器購入に助成を



■笹原 幸信 議員

- 市長の選挙公約について



■八木 秀雄 議員

- 市長公約について
- 区という末端自治組織に対する市長の考え



■北浦 博憲 議員

- 風通しのよい市政運営について
- あわら市北部の地域おこしについて



■青柳 篤始 議員

- あわら市中小企業振興基本条例の運用と今後について
- あわら市のPR方法(魅力発信)と今後のスケジュールについて



■三上 寛了 議員

- 職員の創造性とチャレンジを後押しする柔軟な政策予算の必要性について
- ふるさと納税の活用に向けた推進チームとロードマップ策定の必要性について



■島田 俊哉 議員

- 市職員の人材育成について
- 北陸新幹線県内開業に向けた取り組みについて

質

問



インターネット中継で一般質問をご覧になれます。

総務厚生常任委員会

あわら市職員の育児休業等に関する条例を改正する条例の制定

非常勤職員の育児休業・介護休暇等の取得要件を緩和するための改正です。

あわら市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

未就学児に係る均等割額の2分の1を軽減するための改正です。
※未就学児とは：国民健康保険に加入し、6歳の誕生日後の3月31日までの間にいる子どもです。
※均等割額とは：国民健康保険税のうち世帯の加入者数に応じて算出するものです。

あわら市営駐車場の一部を改正する条例の制定

あわら市湯のまち駅南口駐車場の一部を月極駐車場として運用するための改正です。
※駐車場は湯のまち公民館横で、料金は1か月3千円です。



湯のまち駅南口駐車場

議案外の件

道の駅「蓮如の里あわら」の実施設設計・全体総事業費(概算)等について、理事者から説明がありました。



道の駅正面イメージ図

あわら市特別会計条例の全部を改正する条例の制定

国が施工する国道8号事業の用地取得等のため用地国債制度を活用するのに伴い、公共用地先行取得事業特別会計を設置するため、所要の改正を行うものです。



用地買収予定路線(熊坂地係付近)

あわら市農業委員会の委員等の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定

市内農業者数の減少に伴い、農業委員会等に関する法律施行令で定める農業委員の定数の上限基準の区分が変更となったため、農業委員会の委員定数を16人から14人に変更するため、所要の改正を行うものです。
委員 農業委員選出の方法は、どうなっているのか。
理事者 地区区長会に農業委員の推薦をお願いし



ていますが、自らが農業委員に応募することも可能です。

また、市のホームページで公募し、推薦と公募の両方から候補者が出た場合は、市で評価委員会を開催し、決定いたします。

※農業委員会とは：農業委員会は、農地法に基づく売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申、遊休農地の調査・指導などを中心に行う行政委員会として市町村に設置されています。

市長選挙戦で示した公約を4年間でどのように取り組んでいくのか。

トリムパークかなづの維持管理について

市長選挙戦で示した公約を4年間でどのように取り組んでいくのか。

木下 芦原温泉駅周辺整備事業の拡大として、芦原温泉駅と竹田川をつなぎ、温泉情緒漂う駅前整備とまち歩き空間を整備し、一体的なにぎわいづくりを進めると言っているが、どのように整備するのか。

また、芦原温泉駅から市内主要観光地までの2次交通の整備は、どう進めていくのか。

市長 新幹線開業までは駅直近部の整備を重点的に進め、駅から竹田川までのうるおいエリアについては、令和4年度に整備構想を描きたいと考えています。

市長 多くの利用者でにぎわう施設となるよう、施設や設備の更新を効果的、計画的に進めます。また、幅広い世代が親しみ、楽しめる施設づく

2次交通整備は、引き続き、JR芦原温泉駅やあわら温泉、県内観光地を結ぶ利便性の向上を図っていきます。

木下 市長が選挙戦で訴えたことについて実現できるよう、誠心誠意、市政に取り組むことを願います。

トリムパークかなづの維持管理について

木下 選挙戦で掲げてきた、「公園の総合的な見直し、市内観光に新たな可能性を引き出す」とは何か。

市長 多くの利用者でにぎわう施設となるよう、施設や設備の更新を効果的、計画的に進めます。また、幅広い世代が親しみ、楽しめる施設づく



木下 勇二 議員

りを推進し、観光振興の一翼を担うことができないか検討いたします。

木下 公園東側の菅野地籍の水田に樹木が繁茂し、稲作に影響があり、早急な対処が必要であるがどうか。

教育部長 樹木の成長により稲作等に影響を与えている箇所につきましては、県とその対応を協議します。



市長の選挙公約について



笹原 幸信 議員

笹原 市民の意見を聞くことは大事だが、特定の人や地域の利害に基づくものが多く、市民の声を全てを取り入れることは不可能ではないか。

市長 全ての意見を取り入れることは困難であり、十分しゃやくし、職員などと十分な協議を行った上で施策の柱を築いていきます。

笹原 学校給食法では食材は保護者負担とされており、年間約9千万円を保護者が負担している。一度無償化すると財政が悪化しても継続せざるを得なくなる。市民には多額の税負担が永久に続くことになるのではないか。

市長 市は食材以外の1億4千万円を負担している。大型商業施設と市内小売店が市内の活性化

ていますが、長引くコロナ禍により家計収入が減少した子育て世帯を応援したいことや、人口減少に歯止めをかけたことから公約として掲げました。

実施に当たっては各方面と協議しながら検討を進めていきます。

笹原 大型店を誘致してきたとしても旧市街地の小売店は競争力を無くし空洞化が進むと思うが、その支援策は。

市長 誘致場所については、坂ノ下から重義の県道沿いを考えています。相手がいて成立するため、企業に対しトップセールスを行っていきま

に取り組むことで人流を増やし、相乗効果を生み出すようにしたいと考えています。

笹原 令和3年12月議会に於いて前市長が約束したあわら市独自の農業の補助金はどのようなのか。

市長 市農業再生協議会などの意見を聞きながら、水田農業の助成制度の在り方について協議を進めていきます。

笹原 財政需要が非常に大きくなるがどの様に手当するのか。

市長 新たな財源確保の柱としては、ふるさと納税のさらなる受入れ増を目指していきます。

道の駅「蓮如の里あわら」整備事業について



室谷陽一郎 議員

室谷 道の駅整備事業について、新市長として改めて今後どのように進めていくのか。

市長 令和4年度当初予算にて、施設の建設や駐車場の整備、備品を計上しています。管理運営については、公募型プロポーザル方式により、指定管理予定者として(株)月うさぎを選定しました。市は(株)月うさぎと連携協議し令和5年のオープンに向けて準備を進めます。

直売所運営の大きな課題は、商品の品ぞろえと商品を安定的に提供する出荷体制の構築であるため、出荷者協議会を立ち上げ、自慢の商品を出荷する会員を募集したいと考えています。

交流ができることは理解できるが、地域振興に繋がるかは不安である。あくまで一つのきっかけと考えている。総合的に進める必要があり、今一步立ち止まり、十分な調査、検討をすべきであると考えるが。



道の駅鳥瞰図

室谷 計画では道の駅利用者が、年間36万人と想定されているが、過大ではないのか。「月うさぎの里」はコロナ前で年間入館者数が、団体20万人・個人7万人という数字が出ているが。

創造戦略部長 年間36万人というのは、トイレと交通情報などで立ち寄りの方も含めた数字です。(株)月うさぎのプロポーザルでは、レジカウント15万人程度とみています。

室谷 道の駅を人が利用し立ち寄ること、人の

交流ができることは理解できるが、地域振興に繋がるかは不安である。あくまで一つのきっかけと考えている。総合的に進める必要があり、今一步立ち止まり、十分な調査、検討をすべきであると考えるが。

市長 区と行政とは、団体相互の関係であり、上下関係はなく、市の下部組織という位置づけでもありません。



八木 秀雄 議員

外となる区道や農道などにつきましては、地元や地域によって維持管理されており、地域の必要に応じて幅員などが行われてきました。市に無償譲渡されたことによ

るものでなく、管理について改め説明する事は不要と判断されたものと考えています。

八木 市より区長に支払われる報酬は、個人の手当として処理するのはなく、補助金制度にしてはどうか。

総務部長 集落への補助金制度や交付金制度の導入につきましては、各集落などの実情や意見などを十分に聞き取った上で、先行自治体の例などの調査を行うとともに、集落や地域にとつて最も有意義となる支援がどのような支援なのか十分検討していきたいと考えています。

土木部長 法定外公共物が市に無償譲渡される以前から、道路法適用

は行っているのか。

公共施設の

調理室の状況について

制服の見直しについて

公共施設の調理室の状況について

堀田 あわら市9公民館の中で調理室がないのは中央公民館だけである。金津地区に公共の調理室がないことは、子ども食堂だけの問題ではなく、社会教育上もあってしかるべきと思うがどう考えるか。

教育部長 金津地区に使い勝手のよい調理室がないという現状を課題と捉え、ニーズの調査、施設の活用も含め早急に検討します。

堀田 食育スタジオの条例規則に貸出しの記載がない。このことは、調理室として市民に貸出す施設ではないと思う。また、市民の誰もが使えるように利用マニュアル

を見直すべきではないか。

健康福祉部長 現在食育スタジオの利用の許可条件は、市の事業または市の職員が実施する場合に限り利用可となっております。今後、利用マニュアルの見直しを含め早急に検討を進めていきたいと考えています。

堀田 中央公民館をどう考えているか。

教育部長 市内9つの公民館の総括館と位置付けています。気軽に使用できる教育施設であり、地域との連携を深め社会生活を営む活動の場であります。

市長 今後、公民館長との話し合いを含め、課題や見直しについて考えていきます。

制服の見直しについて

堀田 校則は守るだけのもではない。

制服の見直しについて、生徒、保護者、教諭らとの対話を通して、校則を主体的に考えるルールメイクを取り入れる考えはあるか。

教育部長 生徒自身が校則について考えることは、教育上、大切なことであり、生徒会がアンケートをとり意見集約するなどしています。制服の見直しの意見は今のところ挙がっていませんが、制服を含めた校則の見直しについては、今後も生徒、保護者、学校で話し合いながら検討していくことが必要であると考えています。



堀田あけみ 議員

風通しのよい

市政運営について

あわら市北部の

地域おこしについて

風通しのよい市政運営について

北浦 継続的に市民が意見を出せるような仕組みづくりや、できるだけ多くの情報を市民と共有することが必要と思うがどうか。

市長 継続的に市民の声を聞くことは大変重要なことであり、インターネットによるアンケートの実施など様々な手法について検討していきます。また、市民が必要な情報を取得できるようホームページの機能や掲載内容の充実なども重要と考えています。

北浦 子育て世代、高齢者など、伝える相手方を意識した情報発信を行っているかどうか。

創造戦略部長 住民ニーズに合わせた情報を届けることの出来るツールとして、LINEの機能を活用した情報発信を検討しています。

あわら市北部の地域おこしについて

北浦 道の駅「蓮如の里あわら」の農産物直売所は、市北部地域の産品をどう集め販売し、地域おこしにつなげていくのか。

創造戦略部長 4月に仮称「出荷協議会」を立上げて会員を募集し、説明会等を開催しながら出荷体制の構築を進めていきます。農産物直売所の売上げの増加は、農業者の所得向上につながり、農産物直売所が地産地消



北浦博憲 議員

に果たす役割は大きく、地域農業の活性化が図られていくものと考えています。

北浦 道の駅の直売所で北潟湖の水産物や近傍漁港からの海産物の販売を考えていないのか。

創造戦略部長 加工品を含め取り扱うことを前提に漁業協同組合と協議を進めていきたいと考えています。

北浦 北潟サイクリングパーク内湖岸沿いのソメイヨシノの枯木が目立ってきている。桜を守る措置が必要ではないか。

土木部理事 枯れ木等の調査、伐木を行い、毎年状態管理が出来るようチェックシートを作成します。

DX推進についての考え

DX推進をどのように進めていくか

吉田 DX推進の考え、また今後どのように進めていくのか

創造戦略部長 DX推進基本計画を基に実施計画となるアクションプログラムを策定していきま

す。それ相応の知識も必要であり、まずは職員のレベルアップ・意識改革が必要と考えています。

あわら市の課題を整理し、その課題解決につながる技術から導入していきたいと考えています。※DXとは・・・

人口減少を止める、あるいは増加の案はあるか。

吉田 人口減少対策として、給食費の無償化よりも移住・新たに家を建てて住んでもらうことが一番だと思

つ。現在、あわら市では移住支援・結婚支援・住まい支援などを

行っているが、住まい支援に関しては、空き家取得等支援補助金、空き家リフォーム支援補助金があるが、他市と比べると魅力的には感じない。移住に関して、空き家利用だけでなく新築による移住、または他市への流出を避けるため、子どもが別居する新築も補助対象にしてはどうか。また、国県の補助プ



吉田太一 議員

助を考えるべきである。

市長 私もそのようなことを考えています。県外から市外からという形にして、若い人があわら市に家を建て移住した場合、固定資産税や住民税が当然増加し、さらには国からの地方交付税も増加します。

また、あわら市に住んでいる若い人が家を建てるときに、市外へ流出しないようにするためにも、市独自の新たな支援制度についても検討していきます。



市内事業所への

発注について

あわら市の

PR方法について

市内事業所への発注について(あわら市中小企業振興基本条例の運用状況)

青柳 あわら市内の事業者が受注契約に至った割合はどれくらいか。

総務部長 市内の工事および物品の発注については、市内業者を優先して選定しています。それぞれ総発注件数の85%、63%を市内業者に発注しています。

青柳 中小企業の振興を推進するため、積極的な情報収集は何を行っているのか。

経済産業部長 国や県の支援策などに関する情報などを収集し、事業者へ最新の情報を公開・共有しています。

青柳 市はそれぞれ企

業の特徴をつかむことが一番大切である。事業所の皆様も、我が社はこれ

が得意だ、これなら負けないというアピールをお願いしたい。積極的な情報交換は、既存の枠を超え、職員にとってより多くの引き出しを開けるきっかけにもなる。

あわら市のPR方法について(魅力発信)

青柳 新幹線の開業などで露出する機会が増えるが、どのように魅力を発信していくのか。

市長 旅行商品の販売等を通じた魅力発信が非常に重要であると考えています。様々な地域資源に付加価値をつけ、観光資源として磨き上げ、新たな旅行商品の造



青柳篤始 議員

成を進めます。

また、SNSや各種メディアの活用により、首都圏はもとより関西・中京圏をはじめ全国での知名度向上を図ります。

青柳 効果的なPRとは、適切なマーケティングから生まれるものである。

市はこれまで、様々なPRをしてきたと思う。そこで培われたマーケティングデータは、市にとって重要な資源であるので、「魅力」をどう伝えるかをテーマに、部署・課・出先機関などの枠を越えた情報交換の場をつくってほしい。地道な努力の積み上げが、本心に強いあわら市をつくるのだらうと考えている。

プラスチックごみ回収と削減

気象防災アドバイザー活用 シニア向けスマホ教室

プラスチックごみ回収と削減

平野 市プラごみ一括回収への考えは。また、改訂後の収集袋に追加品目は印刷するの。

プラごみを減らすためマイボトル運動の推進はしないのか。

ゼロカーボンシティ表明はいつになるか。

市民生活部長 広域圏の構成市町と遅れが生じないよう、一括回収の導入時期や対応を早期に検討します。プラスチック資源と名を変え4区分のまま対応し、家庭や事業所から出る主なプラ製品を印刷します。

市民や事業者にマイボトル・マイカップ利用を呼びかけます。議員も

ご協力願います。ゼロカーボンシティ宣言は4月5日に行います。

気象防災アドバイザー活用

平野 気象防災アドバイザー任用に関する見解は。

総務部長 現在、市では自衛隊OBを危機対策専門員として任用しており、気象防災アドバイザーに求められる役割を担っています。

気象防災アドバイザー任用に関しては、今後の体制整備と併せ検討します。

シニア向けスマホ教室

平野 スマホ教室開催状況と今後の計画、デジタル活用支援員について

問う。また、教室の開催数を増やしてはどうか。

創造戦略部長 教室開催は令和元年度から、他に中央公民館単発でシニア簡単スマホ講座を計画しています。今後は、九つの公民館で受けられるよう努めます。

支援員は今後の動向を見定め積極的に活用します。

平野 社会貢献活動推進企業との包括的連携協定締結を望む。また、デジタル人材受け入れに具体策はあるか。

創造戦略部長 包括連携は検討中です。デジタル人材については、ICTアドバイザーを本年4月から政策広報課に配置します。



平野 時夫 議員

職員の創造性とチャレンジを後押しする柔軟な政策予算の必要性について

職員の創造性とチャレンジを後押しする柔軟な政策予算の必要性について

三上 職員が個性を發揮し、やりがいを感じる事ができる職場環境を実現するために、市長へ直接プレゼンのできる環境が必要ではないか。

市長 直接プレゼンする機会を設けること、政策について若手職員を含めた議論の場を設けることなど、先進的な取組をしている自治体や民間事業者の事例も参考にしながら効果的な仕組みづくりを検討します。

三上 スピード感が必要な事業に対する小規模で柔軟な予算があった方が良いのでは。

総務部長 本市のよう



三上 寛了 議員

な小さい組織ではスピード感のある活発な議論が十分に行えると考えています。予算の柔軟性についても、予算計上のタイミングとして年4回、補正予算の編成が可能です。

三上 裁量権を持つ方々がチャレンジを許してくれる、活発な議論をさせてくれる風土を市民は行政に対して求めているが、意気込みを示して欲しい。

市長 全ての職員が活躍できる風通しのよい職場風土づくりに努めていきたいと考えています。

三上 ふるさと納税の活用に向けた推進チームとロードマップ策定の必要性について

市長 全ての職員が活躍できる風通しのよい職場風土づくりに努めていきたいと考えています。

三上 人員の拡充が最も重要になってくると思うがどう考えているか。

創造戦略部長 推進室を設ける予定です。現職員は他の業務と兼務ですが、専任の職員を配置し、体制を整えて実施したいと考えています。

市職員の創造性とチャレンジを後押しする柔軟な政策予算の必要性について

三上 職員が個性を發揮し、やりがいを感じる事ができる職場環境を実現するために、市長へ直接プレゼンのできる環境が必要ではないか。

市長 直接プレゼンする機会を設けること、政策について若手職員を含めた議論の場を設けることなど、先進的な取組をしている自治体や民間事業者の事例も参考にしながら効果的な仕組みづくりを検討します。

三上 スピード感が必要な事業に対する小規模で柔軟な予算があった方が良いのでは。

総務部長 本市のよう

学校給食無償化

駅前通りの活性化を早期実施を

学校給食無償化早期実施を

市長 市長は選挙において、学校給食の無償化を公約しているが、いつから実施するのか。

市長 教育委員会、学校関係者、保護者などのご意見をいただきながら、実施に向けた制度設計を行います。その中で、開始時期の検討を進めてまいります。

山 学校給食は重要な教育活動であると、文科省も教育委員会も認めている。そうであれば、「義務教育は無償とする」という憲法26条の規定に従って、当然無償であるべきである。

「食料費などは保護者の負担とする」という学校の活用支援員について問う。また、教室の開催数を増やしてはどうか。

学校給食法は、憲法26条に反するもので、早期の無償化実施を求める。

また、市長は給食の食材は地場産農産物の利用を促進すると言っているが、現状はどうなっているか。

教育部長 本市の地場産食材の使用率は、63.7%で県内トップです。しかし、生産者の高齢化や後継者不足により、安定的な出荷が厳しくなっており、給食センターと生産者をつなぐコーディネーターの役割が重要と考えています。引き続き、県やJAとの連携を強化しながら、地場産食材の更なる利用促進に努めてまいります。

駅前通りの活性化を早期実施を

山 アフレアやビジネスホテルができて、駅前がシャッター通りではどうしようもない。活性化策はあるのか。

市長 商業エリア空き店舗・空き家改修事業補助金や街なみ環境整備事業補助金を活用して、市外を含む事業者の進出を促し、商店街の活性化を図りたいと考えています。

駅前商店街



駅前商店街

市職員の

人材育成について

市職員の育成について

島田 市の職員は、市民が税で投資をしている市民の共通財産だが、職員との信頼関係をどう築き、職員の人材育成に結びつけていこうと考えているのか。

市長 職員の意見に耳を傾け、施策に反映することにより、職員との信頼関係が構築でき、困難な課題にも意欲的に挑戦できるよう、職員のやる気を高めることが人材育成で最も重要であると考えています。

さらに、取り組む姿勢を正しく評価するための評価制度の構築も検討していきます。

島田 「話し合い、耳を

積極的に活用するために情報収集と戦略を立案・実行する官民連携の推進チームを作ってはどうか。

創造戦略部長 推進チームの設置は、あわら市民全体があわら市のふるさと納税を呼びかけるセールスマンとなるよう展開していくための仕組みづくりになると思います。今後、そのチームについてどのような枠組みが望ましいかを研究したいと考えています。

三上 人員の拡充が最も重要になってくると思うがどう考えているか。

創造戦略部長 推進室を設ける予定です。現職員は他の業務と兼務ですが、専任の職員を配置し、体制を整えて実施したいと考えています。

三上 ふるさと納税を

傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず」という言葉と「視同仁」という言葉を大切にしたい。

※一視同仁とは…すべての人を差別なく平等に愛すること。

島田 県内開業もあと2年を残す時期となったが、新幹線開業は魔法の小づちではなく、勝ち組と負け組の厳しい審判を受けることになる。開業の利益を最大限に享受できるよう、どのような体制整備を考えているのか。

専門的かつ戦略的に実働する組織として「開

業対策連絡協議会」の設立を提案する。

経済産業部長 議員の提案も参考にして、観光協会の体制強化に加え、まちづくり団体や関連事業者との連携も含め、体制整備などについても検討を進めたいと考えています。

島田 今回の開業を100年に一度の好機と捉えて、スピード感を持って取り組むべきものと、10年、50年先を見据えたまちづくりの転換点として、じっくり確実に取り組むべきもの、この仕方が大切だと思う。



島田 俊哉 議員

令和4年3月 第111回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

Table with columns for decision results (議決結果) and individual council members (議員). Rows include various budget items (e.g., 令和3年度あわら市一般会計補正予算) and resolutions (e.g., シルバー人材センターに対する支援を求める意見書).

請願・陳情

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」をJR西日本・JR東海の運営・運行で現行のまま存続させることを求める陳情

提出者 特急存続を求める有志代表 橋川 洋
結果 不採択

●シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出に関する陳情

提出者 公益社団法人あわら市シルバー人材センター 理事長 圓道 紀夫
結果 採択

●インボイス(適格請求書)制度の中止を求める請願

提出者 福井県農民連 会長 玉村 正夫
結果 不採択

●「水田活用の直接支払い交付金」の見直しの中止を求める請願

提出者 福井県農民連 会長 玉村 正夫
結果 趣旨採択

議員発議

あわら市議会会議規則第14条において、議員は各種要件により議案を提出することができます。

●シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

結果 可決

●ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議し即時撤退を求める決議

結果 可決

討論

議案第6号 令和4年度あわら市一般会計予算

芦原温泉駅周辺整備はお金がかかり過ぎる、もっと縮小すべきである。

議案第7号 令和4年度あわら市国民健康保険特別会計予算

あわら市の国民健康保険税は、県内の他の自治体と比べて高過ぎる。

議案第8号 令和4年度あわら市後期高齢者医療特別会計予算

高齢者の生活は大変厳しいものになっていて、保険料を増額するということは、高齢者の暮らしをますます厳しくするものであり、絶対に認められない。

陳情第1号 北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」をJR西日本・JR東海の運営・運行で現行のまま存続させることを求める陳情

「しらさぎ」「サンダーバード」が廃止ということになれば、関西や中京からあわら温泉に来られるお客にとっては、非常に利便性が悪くなる。特急存続は不可欠である。

請願第1号 インボイス(適格請求書)制度の中止を求める請願

中小・零細業者、農家などに大きな負担を強いるものであり、絶対廃止すべきである。

請願第2号 「水田活用の直接支払い交付金」の見直しの中止を求める請願

見直しが実施されれば、永年作物や牧草地利用など、転作に協力してきた農家には大変な打撃になり、特に中山間地はますます耕作放棄地、荒れ地が増えていくことになる。